



2024
高山

第 33 回日本外来小児科学会年次集会

ランチョンセミナー 5

BIOMÉRIEUX

15 項目の呼吸器感染症を約 15 分で 同時検出するマルチプレックス PCR の効果

座長



黒木 春郎 先生

こどもとおとなのクリニック パウルーム 院長

演者 1



西藤 成雄 先生

西藤小児科 こどもの呼吸器・アレルギークリニック 院長

演題 1 SpotFire 検査の導入前後で起こった変化

演者 2



時田 章史 先生

クリニックばんびいに 院長

演題 2 既存の感染症検査と SpotFire の運用、
そして近未来の感染症診断

日時

2024 年 9 月 7 日 (土) 11:50 ~ 12:50

会場

第 9 会場 (高山グリーンホテル 2F 天水)

〒506-0031 岐阜県高山市西之一色町 2-180

開催形式

現地開催

本ランチョンセミナーのご参加について

事前申込または当日整理券

事前申込期間：2024 年 4 月 24 日 (水) ~ 7 月 31 日 (水)

※事前申込の状況によっては、当日整理券の配布がない可能性があります。



共 催

第 33 回日本外来小児科学会年次集会
バイオメリュー・ジャパン株式会社



2024
高山

第 33 回日本外来小児科学会年次集会

ランチオンセミナー 5

BIOMÉRIEUX

15 項目の呼吸器感染症を約 15 分で 同時検出するマルチプレックス PCR の効果

演者 1

西藤 成雄 先生

西藤小児科 こどもの呼吸器・アレルギークリニック 院長

演題 1

SpotFire 検査の導入前後で起こった変化

抄 録

2000 年頃、インフルエンザの抗原テストが診療現場に普及が始まった。それまで臨床症状にて感染症の診断していたが、その場で病原体の存在が説明できる診断法が現れたことにより、外来診療に大きな変化があった。以降、様々な感染症に対する抗原テストが発売され、今日では些か抗原テストを求めすぎずの風潮もあるが、高熱がつづくお子さんの病原体が明らかとなった保護者の安心感（納得感）は大きい。

そして 2020 年から新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の発生にて、即時に複数の病原体検出ができるマルチプレックス PCR 検査機の有用性が認められた。2023 年 8 月に診療所向けの「BioFire SpotFire」が発売され、当院でも導入した。

抗原テストでは把握できていない様々な感染症が乳幼児や児童間で、流行している事が分かり、発熱のお子さんの診療はさらに興味深いものになった。一方で、聞いたことがない病原体名や複数の病原体が検出され事に新たな不安を感じておられる保護者も稀おられ、これまでと異なった理解や説明が必要になる場合がある。また 5 月末日で新型コロナウイルス感染症特例は終わり、いわゆる「包括診療」を選んでいる医療機関では対象年齢や頻度に影響を及ぼすと考えられる。

COVID-19 発生を切っ掛けに新興感染症の対策が叫ばれる時代となった。発生当初本邦では諸外国と比べ PCR 検査数が少なく測定器が医療現場に普及していない問題が露呈した。この後の新興感染症発生時に同じ轍を踏まないためにも、診療所においても PCR を元にした診療は精通しておく必要がある。

「BioFire SpotFire」の導入にて当院で起こった診療の変化から、演者の早期探査やサーベイランスへの期待などをお伝えしたい。

演者 2

時田 章史 先生

クリニックばんびいに 院長

演題 2

既存の感染症検査と SpotFire の運用、そして近未来の感染症診断

抄 録

我々臨床医は、聴診器 1 本で診療する時代を経て、病原体の培養や、ベア血清を用いた抗体検査で感染症の診断が可能になったが、発疹を伴う感染症を除き通常は普通感冒、流行性感冒、夏風邪、晩秋の風邪などの呼称で患者家族に説明をする時代が長らく続いていた。やがて抗原定性検査、抗原定量検査、核酸増幅検査が登場し、さらに臨床の現場において短時間で結果がでようになり、臨床の現場での診断技術は飛躍的に進歩した。

COVID-19 の登場によって PCR の言葉が一般の方にも浸透した一方で、医療者も十分な理解がないままに PCR の結果を盲信している場合がある。近年多項目 PCR 法である SpotFire が臨床の最前線に登場するにあたり、結果の解釈には注意を要する場合があることもわかってきた。

抗原検査にせよ、多項目 PCR にせよ適切な検体採取の後、感染症の診断がなされることにより、

- ① 治療方針の決定 ② 不要な検査の省略 ③ 臨床経過の予測 ④ 適切な感染対策 ⑤ 感染力の評価
- ⑥ サーベイランス・疫学情報への寄与 ⑦ 臨床研究への寄与 ⑧ 医師の診断能力の向上 などに貢献している。

本講演では、抗原検査と SpotFire を併用した事例などを紹介しながら、「誰のために、何を診断するべきか」について考察しながら、近未来の感染症診断について言及する。

ビオメリュー・ジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂二丁目 17 番 7 号 赤坂溜池タワー 2 階
臨床営業部 Tel : 03 - 6731 - 9000

www.biomerieux.co.jp

BIOMÉRIEUX